

山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi
Veterinary Medical Association

第 762 号 令和 6 年 11 月

目次

○第51回中国地区獣医師大会・令和6年度獣医学術中国地区学会参加報告（常務理事）	1
○お知らせ 令和6年度中国地区小動物講習会のご案内	1
○令和6年度日本小動物獣医学会(中国地区)報告（副会長理事・中国地区学会幹事）	4
○中国地区獣医師会連合会開業部会連絡協議会出席報告(小動物部会 大黒屋部会長)	4
○獣医療をめぐる情勢（副会長理事）	5
○総務委員会開催報告（常務理事）	6
○新入会員紹介	
・長北支部 松村先生	7
・豊浦支部 香川先生	7
○リレー随筆（山口支部 阪田先生）	8
○センベルゴ®発売記念セミナー 聴講録（熊毛支部 菅原先生）	10
○海外情報 その哲学と方法論から見たペットと中獣医学の価値及び治療効果の実例（山口支部 中間寛徳先生）	11
○お知らせ 令和6年度獣医公衆衛生講習会（中国地区）の開催について	13
○事務局だより	13
○獣医師総合福祉生命共済事業ポスター	14

第51回中国地区獣医師大会・令和6年度獣医学術中国地区学会参加報告

常務理事 酒井 理

令和6年10月19日(土)～20日(日)、松江テルサ
(島根県)において「第51回中国地区獣医師大会・
令和6年度獣医学術中国地区学会」が開催され、本

県から田中会長はじめ48名が参加されました。
19日は、JR山口線・山陰線を走る特急おき2号
の運行が中止となりましたが、他の交通手段により、

お知らせ

令和6年度中国地区小動物講習会のご案内

本会の主催により、下記のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。

- 日 時：令和6年12月1日(日) 10時～16時
- 会 場：山口グランドホテル3階 末広の間（山口市小郡黄金町）
※対面参加とオンラインの併用
- 講 師：日本獣医生命科学大学 大学院研究科 獣医学専攻
獣医臨床神経学 教授 長谷川大輔先生
- 演 題：「てんかん治療とその周辺疾患の治療：内科と外科」
- 参加申込：令和6年11月13日(水)までに、メール又はファックスに次の事項を記入して、本会事務局に申し込んでください。
①氏名 ②住所（又は勤務先） ③郵便番号 ④電話番号
⑤メールアドレス ⑥参加方法（対面又はオンライン）
- 参加費：本会会員は無料ですが、それ以外は次のとおり参加費をいただきます。 学生：千円、愛玩動物
看護師等：2千円、その他(一般)：3千円
- ◆昼休憩の時間にランチョンセミナーを開催します。
テーマ：当社新商品について
担当者：いなばウェルネルフーズ(株) 東京支店 吉村直樹・川北真梨子 氏

発表者の皆様はなんとか発表時間に間に合うことができました。学会・大会の概要を報告します。

《獣医学術中国地区学会》

第1日目(10月19日)は、日本産業動物獣医学会(中国地区)と日本獣医公衆衛生学会(中国地区)が開催され、第2日目(10月20日)は、これらに加え、日本小動物獣医学会(中国地区)が2会場に分かれて開催されました。

各県獣医師会から推薦された質の高い研究発表に対して、活発な意見交換が行われました。

発表演題数は次のとおりです。

区分	演題数	本県発表
産業動物	33題	6題
小動物	54題	22題
獣医公衆衛生	26題	3題

各学会の発表終了後に、審査会が行われ、獣医学術中国地区学会長賞に、産業動物2演題、小動物3演題、獣医公衆衛生2演題が選出されました。これらの演題は、令和7年1月に仙台市で開催される第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会で発表していただくことになります。

本県からは、日本小動物獣医学会(中国地区)において、次の演題が選考されました。おめでとうございます。

「2歳齢以下100頭の小型犬における歯科X線検査による歯の解剖学的異常」

○網本宏和 八村寿恵 山木誠也 鐘ヶ江晋也
網本昭輝(アミカペットクリニック)

《特別講演》19日14:20~14:50

農林水産省 消費・安全局 畜水産管理課 吉田和弘動物医薬品安全専門官から、「獣医療をめぐる情勢」についての講演がありました。詳細は、本号の白永副会長の投稿をご覧ください。

《市民公開講座》19日15:00~16:20

福岡県獣医師会副会長・アジア獣医師会連合会(FAVA)ワンヘルス福岡オフィス所長 今村和彦先生から、「市民協働のワンヘルス：人、動物、環境が調査する社会へ」についての講演があり、微生物との共生、福岡県のワンヘルスの取り組み、獣医師とワンヘルスについて講演されました。今村先生には、本会が主催した昨年度の中国地区獣医公衆衛生講習会において、「ワンヘルス」について講演していただきました。本会ホームページの会員専用コーナーに掲載しているテキストと動画を参考にしてください。

《中国地区獣医師大会》19日16:30~17:50

【表彰】

大会委員長の島根県獣医師会 安食政幸会長と日本獣医師会 栗本まさ子副会長の開会挨拶に続き、次の功労者等への表彰が行われました。

- ・日本獣医師会会長表彰：8名
- ・中国地区獣医師会連合会会長表彰：23名
- ・令和5年度獣医学術中国地区学会長賞表彰：7名
本県関係の受賞者は次のとおりです。(順不同、敬称略) 受賞者の皆様 おめでとうございます。
- ・日本獣医師会会長表彰受賞者
松田芳行(山口支部)
- ・中国地区獣医師会連合会会長表彰受賞者
中村 滋(山口支部) 酒井 理(山口支部)
佐藤 宏(山大支部) 佐藤晃一(山大支部)
- ・令和5年度獣医学術中国地区学会長賞受賞者
「大学キャンパス内の野良猫数管理において奏功した事例」
○前原光主穂 西本美晴 石田千穂 福永芽広
渡邊健太(山口大学)

【大会議事】

国や島根県、島根県議会の来賓から挨拶をいただいた後に、大会議事について協議がありました。

議題1「第50回中国地区獣医師大会決議事項及び令和5年度中国地区獣医師会連合会決議要望事項に係る処理経過」では、前回中国地区大会を引き受けた本会の田中会長が、大会での決議事項に対する日本獣医師会の対応状況について説明しました。

議題2「大会決議議案」では、次の4議案が決議されました。

- ①農林水産省の獣医師養成修学資金給付事業の広範活用について
- ②「動物の愛護及び管理に関する法律」における獣医師の位置づけの改正について
- ③伴侶動物における重症熱性血小板減少症候群(SFTS)のサーベイランスの実施と検査・診断体制の整備
- ④農業保険法に基づき設立された農業共済組合家畜診療の運営費の助成について

議題3では、獣医師のそれぞれ専門分野において、獣医師倫理の高揚に努めるとともに、獣医学分野での一層の研鑽を重ね、社会の負託に応えるという大会宣言が決議されました。

《歓迎交流会》19日18:20~20:20

大会終了後、松江エクスセル東急において歓迎交流会が開催されました。中国地区各県からの参加者が交流を深めるとともに、会場で披露された「石見神楽 おろち」を楽しんでおられました。

来年度は、岡山県獣医師会の主催により、令和7年10月11日(土)~12日(日)、岡山市において「令和7年度獣医学術中国地区学会」が開催されます。

中国地区学会において発表される会員の学会参加費・旅費は、本会が負担します。これに向けて、皆様、調査・研究の取り組みをお願いします。



発表される下田宙先生（山口大学支部）



発表される相津絢子先生（長北支部）



発表される山木先生（宇部支部）



中国地区獣医師大会で報告される田中尚秋会長



受賞された皆様 左から 佐藤宏先生、佐藤晃一先生、松田芳行先生、前原光主穂さん、酒井常務理事



歓迎交流会の様子 左から、甲斐先生（岡山県）、佐藤先生（日獣）、田中会長、白永副会長、木村書記、栗本副会長（日獣）

令和6年度日本小動物獣医学会（中国地区）報告

中国地区学会幹事・副会長 白 永 伸 行
(シラナガ動物病院)

この10月20日(日)に島根県松江市において令和6年度の獣医学術中国地区学会が開催されました。

日本小動物獣医学会は小生が学会幹事であり、山口大学谷健二先生、馬場健司先生とともに、地区学会長選考委員として演題の審査にあたりました。

エントリー演題数は54題（当日欠席の先生が1名）で、2会場に分けて発表が行われました。

山口県からは先の山口県獣医学会で発表された22演題全てが、小動物地区学会発表演題として推薦されました。山口大学の11題に続き、アミカペットクリニック（宇部支部）4題、ファミリー動物医療センター（防府支部）2題、あくあ動物病院（長北支部）1題の発表者に島根県に参集頂きました。

他地域の発表演題を見てみますと、外科、整形外科、神経病、眼科、歯科、感染症、腫瘍（+放射線治療）など、それぞれが研究成果を披露してくださいました。

個人的な所感として、発表内容の優秀さを競うも

のも去ることながら、発表時間の徹底が事前申し合わせであり、特に質疑応答も打ち切る姿勢でありました。これは運営側への配慮と共に、発表時間の遅延は他の演者の妨げになることを考えてほしいものだと思います。

従って、いかに上手に聴衆にわかってもらえて共感を得るかも優劣のポイントとして重要視されてくる傾向です。これは当たり前といえば当たり前ですが、発表原稿も作らずスライドだけでアドリブでプレゼンする方に限って早口か余計な話の挿入、時間超過など学会運営の妨げになりやすいので今後は注意が必要です。

結果ですが、今回の小動物地区学会では宇部支部の網本宏和先生が学会長賞を受賞されました。網本先生は来年1月、仙台市で開催される日本獣医師会年次大会の地区会長賞発表会において発表していただきます。最優秀学会長賞を是非とも獲得してほしいものです。

令和6年度中国地区獣医師会開業部会連絡協議会に参加して

小動物部会長 岩柳支部 大黒屋 勉
(みさお動物病院)

2024年10月20日(木)に松江市で開催された、中国地区獣医師会開業部会連絡協議会についてご報告させていただきます。本会議には中国5県の開業部会代表者が出席し、各県獣医師会より提案された議題について協議が行われました。

今回の議題は、「中国地区災害時連絡体制について」で、広範囲にわたる大規模災害発生に備え、発生時に情報を共有することを目的とし、各県開業部会間の連絡体制を確認しておくことを主題とするものでした。

提案者の岡山県獣医師会様では倉敷市真備町での水害の経験からVMAT（Veterinary Medical Assistance Team）への加盟に加え、岡山市を中心に多くの開業獣医師がLINEアプリでつながり情報を共有する体制を構築中とのことでした。このような活動を踏まえ、県境地域での災害などに対応するため、県をまたい

だ連絡網の作成を提案されました。

情報共有の手段としてLINEアプリは電子メールやFAXと比べても速さの点で優れていると考えられます。ただ、情報の整理という点で難しいのではないかと発言も出されました。

最終的に現時点では各県の小動物代表者がLINEアプリでつながっていると良いのではないかという結論となりました。過去に例のない災害が頻発している昨今、県内でも情報の素早い伝達手段としてLINEアプリの利用等は参考になるものと思われます。

会議の終わりに、島根県獣医師会もVMAT加入を計画されており、11月頃に認定講習会を開催する旨をアナウンスされていました。

会員の皆様におかれましては今後とも小動物部会の活動にご意見を賜り、部会の運営にご協力頂きます様、重ねて宜しくお願ひ申し上げます。

獣医療をめぐる情勢

副会長理事 白 永 伸 行

(シラナガ動物病院)

日本獣医師会中国地区学会では近年農水省から派遣された講師による特別講演が催されています。本年は「獣医療をめぐる情勢」という演題名で、農水省消費安全局地区水産安全管理課動物医薬品安全専門官の吉田和宏先生が講師として招かれました。ここでは拝聴した内容を簡潔に述べていきたいと思えます。

1) 獣医師の現状：令和4年届出者総数40455人。小動物4割、産業動物2割、公衆衛生1.5割、大学や製薬会社など研究職、その他で1.5割。届出者総数は30年で12,000人増加しているが小動物従事は3倍増加であり、ここ5年で800人増えているとのこと。参考までに愛玩動物看護師は国家資格になり21,689人が誕生したとのこと。

飼育動物の飼養頭数は、家畜は横ばいか僅かに減少傾向。肉用、乳用牛、豚の農家戸数は減少しており大規模化が進んでいるようなので生産獣医療へのニーズが大きくなっている。犬猫は、頭数は減少から横ばいだが犬の飼育頭数は昨年度で684万匹と10年前より140万頭も減少しており、狂犬病予防接種頭数の減少も避けられない。しかし犬で14.6歳、猫で15.8歳と平均寿命の上昇が見られ、小動物獣医療のニーズも変化している。

産業動物獣医師の育成確保など対策は、令和6年度に250百万円の予算を確保した上で、①獣医学性などの就業を誘導する地域への支援（産業動物獣医師を志す獣医学性に修学資金を給付して一定期間の勤務を条件に返還免除など）②獣医学生の実習と獣医師の技術向上（学生の実習や卒業研修など）③情報通信機器を活用した産業動物診療の効率化の三本柱で取り組んでいるとのこと。

2) 専門獣医師：獣医療広告規制見直しのポイントとしてこれからは正確かつ適切な情報提供の努力義務を追加したとのこと。具体的には大臣指定団体による専門性を出しても良くなる（令和6年7月24日に7団体が認証を受けた）これは広告制限がこれまで厳しかったのが飼い主の欲しい情報を丁寧に発信することで、主にWEBはこれまで広告から除外していたが、専門性のニーズが高まることでガイドラインを設けて質の向上を目指す。このことは獣医師自身の安全対策（おそらく訴訟リスクのこと）にもつながると考えている。

3) 獣医師法第22条の届出義務：罰則規定はないものの獣医師の権利と義務であり道徳的義務として届出を2年に一度行っている。前回はWEB届出を初めて行った。システムの煩雑さが目についたが、今年は改良しているとのこと。前後するが獣医師の獣医事関連法令として、獣医師法の中で特に届出義務

（22条）、応召義務（19条第1項）、診断書等交付義務（19条第2項）、診療簿記載保管義務（21条）は自覚を持つことを強調していた。これは獣医師に対する行政処分として免許の取り消し・業務停止を意識したものであり、特に運用が難しいことを強調していた。その中で届出をしない22条違反は該当しうるので改めて届出をして欲しいということであった。行政処分としては、獣医師法違反や獣医療法違反といった獣医事に関することは過去にワイドショーで大きくとりあげられた獣医療過誤を例に出していたが、近年は犯罪など警察関係にお世話になることは当然であるが、獣医師法に基づく行政処分として社会通念上の違法行為に注意して欲しいと言明していた。具体的には飲酒運転、青少年保護条例違反、暴力団など反社会的勢力に関わる条例違反、性的姿勢撮影処罰法違反（いわゆる盗撮）、迷惑防止条例違反、覚醒剤に関する違反などが近年の獣医師免許停止事例として多く、警察の関与なしに行政処分が可能であるから改めて違反しないよう求めている。また診察をせず、自らが調合した未承認医薬品を販売していた産業動物診療獣医師の獣医師法・薬事法違反の事例（H19年）や、民事訴訟として獣医療裁判が医療集中部で初めて扱われたいわゆる「麻衣子ちゃん事件」（H16年：糖尿病でインスリン投与を怠り亡くなった事例）や適切な獣医療水準を満たしていない訴訟事例（R4年：輸血を行わずに亡くなったことが適切な検査や治療、二次診療への提供などを怠ったと認定された事例）などを紹介して説明解説していた。

4) 獣医師とは：獣医師法が制定された昭和24年にはすでに記載された獣医師に課せられた倫理観念を強調し、獣医師の資質向上を目的とした道徳的義務順守が「獣医師道」というフレーズで初めて提唱されたのである。その獣医師道とは「獣医師たるものは自律的に高い道徳的精神の持ち主でなければならない。それは単なる罰則で、べからず主義によらず、自主的に定めた倫理綱領を持つところに達する異常な努力が必要」と説いているとのこと。ここで、結論的に日本獣医師会の獣医師倫理要綱に触れて、本講習は獣医師の職業倫理を遡って説明していたことと相なった。

聴講した感想として、筆者は現在「日本獣医療倫理研究会（JAMLAS）」の現会長として動物病院の獣医事に関係する法と倫理の観点を軸に安心・安全な小動物医療の運営と提供を会員とともに研究しているが、その根底にあたる獣医師法を近年の情勢や取り巻く環境の視点から解説していたことが、入り口は違えど願いは一緒であると感銘を受けた。

総務委員会開催報告

常務理事 酒 井 理

令和6年10月24日(木)午後1時30分から、山口市小郡地域交流センターにおいて、総務委員会が開催されました。

田中尚秋会長からの、会務運営への協力・支援に対する謝辞等の挨拶の後、次の4件の議題について、協議していただきました。

議題1 委員長の選任について

議題2 新たな山口県獣医師会館の取得について

議題3 役員候補者推薦規程の一部改正について

議題4 役員報酬規約の一部改正について

議題1では、本年6月に新たな総務委員が選任されてから初の委員会となるため、部会・委員会規程に基き、山口支部 森 章委員が委員長に選任されました。

議題2では、新会館の取得にむけた今年度の取組を報告しました。

《事務局説明概要》

- ・閉院された小児科医院を仮事務所として借り受け、6月17日から事務を行っている
- ・7月1日から、旧獣医師会館の解体工事を開始
- ・8月24日に地鎮祭を開催し、工事関係者等と工事の安全を祈願した
- ・建設予定地の地盤調査の結果、軟弱地盤であり、液状化が懸念される結果となったことから、50cmの太さのコンクリート円柱を50本打ち込む基礎補強工事を実施した
- ・9月27日に棟上げが行われるなど、工事は順調に進められており、年内に建物が完成、来年1月に外構工事、2月に引き渡しの予定となっている

議題3では、公益法人認定法の改正に伴う本会の役員候補者推薦規程の一部改正(案)について諮り、賛成多数により承認を得ました。

《事務局説明概要》

- ・本会の理事・監事の任期は2年間で、役員候補者推薦規程に基づき、2年毎に、正会員の中から立候補又は、推薦により役員候補者を募集している
- ・今年5月、公益社団法人認定法の一部が改正され、全ての公益法人に外部監事の導入と、一定規模以上の公益法人に外部理事の導入が義務づけされた
- ・本会は、外部理事の導入が免除される小規模法人に該当と考えているが、現在、県学事文書課を通じて国に照会している
- ・本会の役員候補者推薦規程では、正会員のうちから役員候補者を選ぶとされていることから、今回の法改正に対応するには、これを改正する必要がある
- ・役員候補者推薦規程の改正や廃止は、総会の議決を経るとされているので、臨時総会を開いての役員候補者推薦規程の改正の必要性について県学事文書課を通じて内閣府に照会した

・その結果、「来年4月に改正公益法人法が施行された後は、本会の役員候補者推薦規程は、法に違反した規程になるので、臨時総会を開かずとも、令和7年度の総会で改正する予定の役員候補者推薦規程に基づき、役員選考を行って差し支えない」との回答があった

・このため、役員候補者推薦規程第2条中、「正会員のうち」を削除し、あわせて、推薦委員の選出区分の支部代表数を「12」から「11」とする改正案を次年度の総会に提案することとした

議題4では、役員報酬規約の一部改正(案)について諮り、賛成多数により承認を得ました。

《事務局説明概要》

- ・本会の常務理事(以前は事務局長)は、これまで県を退職して、年金を受給している会員を充てることによって、人件費を抑えてきた
- ・年金に関する法改正により、60才から支給されていた公務員等への年金の支給年齢が段階的に引き上げられ、数年前から、65才からの支給となった
- ・県を退職後の獣医師を雇用している関係団体(年支給額3,745千円~4,950千円)や県の再任用獣医師(年支給額3,699千円)に比べ、本会の常務理事の年支給額(2,760千円)が著しく低い
- ・このため、県を退職した直後の獣医師に、本会での勤務を勧めにくい状況となっているため、昨年度の理事会において、若くて優秀な常務理事を確保するため、年金支給年齢に達するまでの常務理事の報酬等を見直すことが継続審議とされた
- ・対応案として、常務理事の支給額が、県再任用職員と同等となるよう、本会役員報酬規約を改正し、公的年金支給年齢の65才に達するまでの間の常務理事の月額報酬を、増額したいと考えている

議題3、議題4の規程・規約の改正案については、支部長会議で報告して意見を聴いた後に、理事会に諮ることとしています。



建築工事現場 (令和6年10月23日)

新入会員紹介



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会いたしました松村有祐です。本年4月から山口県職員として長門健康福祉センターに配属され、食鳥検査やその他食品衛生に関わる仕事を担当しています。出身は柳井市で、日本大学を卒業しています。大学では獣医微生物学研究室に所属し、猫白血病ウイルスについて研究していました。大学卒業後、一般の動物病院に少し勤めた後に山口県に帰ってきて、この度山口県職員として勤務し始めました。

趣味は色々であり、屋外の趣味はゴルフとドライブです。特にゴルフは昨年の12月に本格的にスタートし、まだまだ下手ですが、ラウンドを重ねて一つ一つ成長を実感しているところです。大学時代の友人もゴルフをするのですが、もうすぐ100を切りそうとのことで置いて行かれないように頑張りたいと思



山口県獣医師会の皆様はじめまして。この度山口県獣医師会に入会いたしました香川航輝です。

輝です。

本年3月山口大学を卒業し、4月よりNOSAI山口西部診療所に所属しております。大学時代実習等でお世話になった農家の方々や、大学の先生方、NOSAIの先生方と共に働いてみたいという思いからNOSAI山口に入りました。先輩方に支えられながら様々な症例に挑戦し、飛び出してくる鹿に怯えながらも充実した日々を送っております。

大学の頃は感染症学研究室に所属し、近年問題になっているツシマヤマネコとイエネコの接触による感染症の伝播について研究しておりました。感染すると宿主のゲノムに遺伝子が組み込まれるFIVにフォーカスし、遺伝子型を解析しウイルスの広がりを追う

長北支部 松村有祐

(長門健康福祉センター)

います。屋内の趣味はアクアテラリウムの作成や水彩画やゲームです。私は豊かな自然を見たり川や海の音や鳥の声を聴いたりすることが好きで、旅館に泊まった朝などはベランダで景色を堪能したり目を閉じて聞こえる音の数を数えたりしています。その感動を水彩画やアクアテラリウムで表現できればと日々試行錯誤しています。また最近になってやっとニンテンドースイッチを買って、友人とたまにモンスターハンターをプレイしています。社会人である自分を忘れて、大学時代を思い出しながらやるゲームは自分にとっての大切な時間となっています。

今扱うことの多い法律は食品衛生法で国家試験の勉強や臨床獣医師時代にはあまり重要視していなかった法律ですので戸惑うことが多いですが、日々精進しています。これからよろしくお願いたします。

豊浦支部 香川航輝

(山口県農業共済組合西部地区家畜診療所)

といった趣旨の研究です。研究内容が大量のサンプルのPCRと遺伝子配列の解析であったためとても大変でしたが、今年の国試に出たのでやって良かったなと思いました。

プライベートでは愛車でドライブに出向いたり、小学校から高校までやっていたテニスを再開したり、たまにデイキャンプをしたり、温泉に行ったりしています。外で働くようになってからかなりアウトドア志向になり、休みの日に限って雨が降る最近の気候に辟易としています。また最近2頭の子猫をお迎えしました。日々成長していく姿を観察することがなよりの幸せです。

産業動物獣医師として山口県の畜産業に貢献するために自分にできることを日々考えながら精進していきたい所存です。獣医師会の皆様今後ともよろしくお願いたします。

リレー随筆

はじめての富士登山3日間7/27～29

山口支部 阪 田 昭 次
(さかた獣医科)

一生のうちにいつか富士山に登りたいと思っていました。実は10年前にかみさんと登ろうと予約をしましたが、仕事の都合でキャンセルしていました。

その後、かみさんは体力がないと言い出して行くことにならなかったのですが、今年の年賀状に「富士山に登ろうと思っています。」と書いたこともあり1月に予約を入れました。

息子は学生時代に2度弾丸登山をして「高山病に気をつけても、若者でもとてもきつかった」との話から最も登りやすい吉田ルート「はじめての富士登山3日間」、第1便の飛行機で羽田空港、5合目まではツアーバス、7合目の山小屋に前泊して山頂へ、その後8合目まで下山して後泊する山小屋に2泊するツアーを選びました。

予約後は3月に説明会があり（この時点でこの夏の全ツアー予約完売）、装備の準備もさることながら体力を付けておくようにとありましたが、なかなかトレーニングはできないまま、装備も慌ててあれもこれもと揃えてリュックの総重量が13kgになっていました。中には防寒着、カッパ、大量の水、食料、おまけに半額だった酸素ボンベ2本、背負うだけでも大変。そのため、当日は5合目の預かり所に下山後の着替え、余分な水2L、食料お菓子などを置くことにしましたがそれでも10kg程度あったと思います。

さて、登山ですが天候にも恵まれ青空のもと富士山を見上げながら出発です。5合目からは緩い登りに一部の岩場でなんとか4時間かけて7合目山小屋に着きました。

その日は軽い夕食（弁当）をとり山小屋の寝袋で雑魚寝です。隣のおっさんたちと引っ付いていびきで熟睡はできず、トイレは有料（200円）、洗面の水もありません。若い女性にはちょっとキツイかも？

次の日は朝5時起床、日頃の行いもあってご来光を見て最高、眼下に川口湖、山中湖を見ながら次の目標は8合目山小屋です。

ここからはひたすら岩場を登るのですが、トレッキング（利尻礼文、尾瀬）、萩往還（毎年）を歩いているので大丈夫と思っていましたが、登山初心者にとってはきついもので、少し登ると息が上がり休まないと登れない。

ツアーは高齢者が多いのでペースはゆっくりなのについて行くのがやっと、高山病にならないようにガイドに教えてもらった呼吸法（ゆっくりと吐く）



ご来光

をしながらの登山です。

ツアー参加者26名中10名程度は高山病の症状が出て、ひどい人4名は8合目の山小屋で待機することになり山頂への登頂を断念することになりました。この間には富士山では風が強いためめったに来ないヘリコプターが2台も来て低体温症の外国人旅行者を救助するのを眼下に見ました。（今年の富士山登山者20万人、死亡事故は例年より多く10人程度、遭難者は静岡ルートが500人で山梨の10倍）

インバウンドの再開もあり登山者の半数は外国人で中国、韓国をはじめ東南アジアや欧米と全世界から来ている感じで、それも半袖半パンの人も多く見られ、本当に大丈夫と思いつつ若い女性に見とれていました。

さて、話を戻して8合目山小屋に3時間かけて到着、今日泊まるこの山小屋に山頂登山に必要なものは置いて行きます。8合目から山頂までは岩登りの連続で最後の力を振りしぼりなんとか3時間かけて12時に山頂にたどり着く事ができました。

まずは浅間神社奥宮にお参りをして、美味しいと有名なラーメンを食べた後は火口を歩くお鉢巡り（約2時間）に行きました。ここで半数の約10人は「もう限界」とのことで断念されましたが本当の山頂（剣ヶ峰）はこのお鉢巡りをしないと行けません。



山頂

富士山の最高峰3,776m。(以前は3,778mと習った気がしていましたが国土地理院が再調査をしたら2m低かったそうです。)山頂では天候に恵まれていたのですが、剣ヶ峰に立ったころにはガスが出てきました。

山の天気は変わりやすく、富士山は単独峰なので風も強く、晴れているのに8合目から登れないツアーも多いとのこと。特に最近では風が強くなってきて飛ばされることもあるらしい、来たら絶対登れるとは限らない、ツアーではガイドがいて判断してくれるから無理をしないが、個人の場合は無理して事故になる。降雨量も増えてきているようです。

さて、下山ですが山登りは下りがきついと聞いていましたが、膝に持病がある私にはジグザグの砂利道を延々と下ることはとてもきついものでした。一応ストックは持っていたのですが屋久島で使った1本だけだったのでたまたまガイドに借りて2本でようやく降りることができました。

たくさんの方が砂利道を下りどんどん砂利が下に落ちていくこの山はいずれなくなるのではと思いつながら8合目に、その日の宿泊の山小屋には仕切りがあり前日に比べて少し快適に感じました。食事はやはり弁当で朝食は前日同様スナック菓子、パンとジュースです。翌朝は4時に起床し、下山途中で2回目のご来光を見て下山を始めたのですがやはり膝が痛み出してさんざんでした。

何か修行僧にでもなった気分です。5合目までの4時間やっとの思いで降りたのです。途中には屋根のな

い落石危険箇所もあり、けっして安全な山ではないのだと思いました。ツアーの参加者には足を挫いてしまい7合目から馬で下山する人もいました。馬を業者に頼むと5合目から迎えに来てくれるのですが即金で40,000円です。

最後に、インバウンド、入山規制等の話題もあり、今年ほど富士山が話題になった年はなかったのでは、外国人のほとんどは山小屋に泊まらず小屋の前で寝ているのを多く見ました。

吉田ルートの入山規制は4,000人ということですが、それに達していない今回でも登山道、山頂はたくさんの人で一杯という感じでした。そのため、山小屋での宿泊を義務づけ、ヘルメットも着用することを検討する時期に来ていると思いました。

高齢者はツアーに入り管理してもらうことと思います。若い人は高山病になる人もいるので無理な行程を立てずにゆとりを持って楽しんでほしいと思います。私は旅行キャンセル保険も旅行傷害保険も無駄になってしまいましたが、なんとか家に帰り仏壇のかみさんに登山証明書を見せて無事登って帰れたことを報告しました。富士山を甘く見てはいけません。いい経験となりました。

今度は年賀状に「台湾の隣の与那国島にいこうと思います」と書く予定です。

人生一度きりを生きる(高倉健)

次回は、農業共済組合中部家畜診療所で仕事に育児に奮闘されている中常先生にお願いいたします。



富士山登り

センベルゴ®発売記念セミナー 聴講録

熊毛支部 菅原 淳也

(菅原獣医科医院)

去る2024年9月16日(月・敬老の日)、ベーリンガーインゲルハイム アニマルヘルスジャパン(株)主催のセンベルゴ®発売記念セミナー(福岡会場)に参加してきました。

当日は歴史的な残暑で、福岡会場周辺の最高気温は35℃を記録し、さらに開始時刻(15:00)前後には時間雨量32ミリの豪雨が降り注ぎ、日本列島の亜熱帯気候化を想像せずにはいられない天候でした。

主な講演は、日本獣医生命科学大学の森 昭博 先生によって「SGLT2阻害薬はゲームチェンジャーとなりうるのか」のタイトルで行われました。以下その概要をかいつまんでお伝えします。

《概要》

- ・センベルゴ®は猫用の糖尿病治療薬で、経口血糖降下剤である。
- ・有効成分は「ベラグリフロジンL-プロリンー水和物」で、SGLT2阻害薬に分類される。
- ・投与量は1mg/kg1日1回経口投与
- ・SGLT2阻害薬はヒト、犬に比較して猫で効果が高い

《作用機序》

原尿には血液中と同等のブドウ糖が含まれているが、通常近位尿管でSGLT1および2によって血中に再吸収されている。センベルゴはSGLT2の働きを阻害することによって尿中に排泄されるブドウ糖を増加させ、結果血糖値を低下させる効果を持つ。

血糖値を下げることによって疲弊した膵臓を休ませることができ、その結果内因性のインスリン分泌が増加しているのではないかとと思われる(森先生私見)が、そもそも内因性のインスリン分泌が非常に減少あるいは停止している症例では後述のケトアシドーシスの発生に注意が必要。

《症例の選定が重要!》

「ハッピー糖尿病」と表現されていましたが、元気食欲あり・多飲多尿あるが脱水無し・ケトン尿な

し・膵炎なし・消化器症状なし・末端肥大症なし・その他併発疾患なし、の症例に推奨されるということです(なかなか厳しい条件かと・・・)。

《副作用》

5割で軟便。プロバイオティクス製剤から止瀉薬へ。止まらないなら薬用量半減させるが、効果も低下するかも。

1割でケトアシドーシス(DKA)。ケトアシドーシスに陥っていても血糖値が正常なことがある(eDKA)。すぐにセンベルゴを休薬し、インスリンを用いた治療を開始すべき。

ケトアシドーシスを早期に発見することが重要。投与開始後2週間はガイドラインに従って特にケトン尿を毎日監視する方が良いだろうとのこと(森先生私見)。2週間経過後はそれ以降の副作用発生が減少する。

《感想》

センベルゴの使用を始める前に、症例の選定が重要なのは言うまでもないのですが、まずはトイレの形式と、採尿の可否を確認することが最も重要なのではないかと思います。投薬開始後、ケトン尿の確認さえ確実に実施できれば比較的 safely 使用できるのではないかと感じました。これから症例数が増えて行くにつれ得られる情報も増加していくでしょうから、適切な患者選択のための条件設定が洗練されていくのではないのでしょうか?

以上、少しでも先生方のご参考になれば幸いです。

キーワード

- ・体重測定
- ・ハッピー糖尿病
- ・正常血糖値ケトアシドーシス
- ・軟便/下痢

海外情報 その哲学と方法論から見たペットと中獣医学の価値及び治療効果の実例

山口支部 中間 實 徳

(山口大学名誉教授・東亜大学名誉教授)

去る2024年10月5日大阪国際会議場で開催の第45回動物臨床医学会年次大会で、中国北京農学院 教授 陳 武 博士 による講演「その哲学と方法論から見たペットと中獣医学の価値および治療効果の実例」の概要を述べ参考にされたい。

中国は文明の古い国であり、動物を飼育する歴史も長い。犬は1万年前に中国を起源とするチャウチャウ、パグ、シーズー等がいて世界各地に拡散した。中獣医学の起源は、動物飼育の開始に伴い、商周時代（紀元前618-907年）の甲骨文に獣医診療の記事が登場している。唐時代（618-907年）には、獣医養成機関である太僕寺と教科書「司牧安驥集（しばくあんきしゅう）」があった。

中国でのペットの大量飼育は1980年代末に始まり、現在中国には3万軒以上の動物病院があると言われている。古代の大量の中獣医学文献の中で、ペットの疾患・診療に対する記載は極めて限られているが、系統的で完全な理論体系を持つ伝統的な獣医学として、その哲学思想と方法論は私達の認識と問題解決に根拠を提供した。

1 中獣医学哲学と方法論

- 1) 中獣医学哲学：元氣論（気一元論）と全体観で、すべての生命の源は同じで、生命体はまる一つのものである。
- 2) 中獣医学の方法論：以大観小、取類比象、司外揣内、平衡調節は中獣医学が生理、病理、診断と治療の基礎で、漢方薬（中薬）鍼灸、治未病は病気予防と治療の基本である。

2 中獣医学哲学と方法論から人類はなぜ動物を愛護/保護するのかを検討する。

気一元論と全体観である中獣医哲学が地球生命は共同体であることを教えてくれた。人間は食物連鎖のトップに位置する高級生命はであり、高度な段階に入った後、地球生命の持続可能な発展に対して逃れられない責任と義務を持っている。

3 愛と思いやりの物質的基礎—究極の答え—：元氣論と万物同源の科学的根拠

地球上のすべての形態の生命体の本質は、G、C、A、Tの4種類のヌクレオチドから形成される塩基の異なる配列組み合わせである。人と動物

の遺伝子は高度に同源で、情は手足と同じようである。

4 ペットとその診療の究極の意義

1) 漢方医思想から宇宙における地球の安全を見て、人類の健康と動物の関係を考えると、地球の周りに私たちを守る障壁がいくつもあることから、人類の周りにもその働きをする生物保護層が存在しているはずである。

2) 人間の健康を保証する生物防護圏の構成仮（陳教授）

①身体自身の防御層

②体外防御層

第1層：私達の周りの人間（集団免疫）

第2層：ペット

第3層：家畜と家禽

第4層：身近な野生動物と微生物

第5層：離れた野生動物と微生物

第6層：未知の野生動物と微生物

このように人間と密接な関係を持っている動物ほど人間の健康に良い守護神となる。

5 健康と理想の医学—中獣医学の真の意味に対する思考

他の生物を殺して完全に消滅させると同時に、自身の自己治療能力を損る医療は悪循環を招いている好ましくない医学である。

1) 健康と理想的な薬と獣医とは？

身体自身の抗病機序を十分に引き出し、維持し、外力(薬物または設備)を持続的に使用せずに健康を回復することができる医療であるべきである。

2) 中獣医学の真の意味：アンバランスを是正し、自己治療力を引き出して疾病を予防し治療し、機能を促進し、生活の質を保証し、地球生命共同体の持続可能な発展に奉仕する未来医学を建設する。

6 獣医学の基本概念と方法の科学的内包—実例

1) 血気不和と各種疾病発生の科学的内包

①中獣医学的病因学の基本的認識：「血気の不和で百病は変化によって生じる」。遺伝子の異常は細胞ないの異常だけでなく、細

胞外の環境異常の結果、つまり血気異常でもある。そのため、血気を調節することももちろん有効で科学的な治療方法である。

②現代動物医学の病因に対する基本的な認識：細胞構造と機能異常は疾患の根本的な原因であり、病原性因子を除去したり、異常細胞を調節して機能を回復することは、病気を治療するための基本的な措置となるが、その限局性がある。

2) 新型コロナ肺炎の治療から見た「同病異治」の化学的内包

新型コロナウイルス感染の早期抗にウイルス、中後期に抗炎症という現代医学の研究結果は古くから行われている「同病異治」の中獣医学原則の体現と科学性の根拠となる。

3) 鍼灸による疾病治療の科学性の分析

①椎間板ヘルニアの鍼治療効果：グレード4まで2週間93%と高い治癒率を示し、48時間を超えたグレード5でも66%の治癒が見られた。

②椎間板ヘルニアの鍼治療メカニズムに関する研究

- 脊髄微小循環血流に対する影響
- 脊髄微小血管に対する影響
- 脊髄神経細胞に対する影響
- 脊髄成長因子と脊髄損傷による炎症反応への影響
- 神経伝達機能に対する影響
- 椎間板ヘルニアに対する電鍼の予防作用
- 電鍼＋ステロイドの相乗効果

4) 中（獣）医療法の2つの現象の科学的分析
ミノ倒しから見る異なる中獣医処方作用原理：特定の時点で特定の隙間に作用し、衝撃に補（抵抗するのを助ける）また瀉（衝撃を阻止する）の異なる方法で、悪循環を遮断し、機体の自然治癒力の回復を待つのを助ける。

7 中獣医療法による典型的な実際の応用例

- 1) 大型高齢犬の重症麻痺の中獣医診療（神経疾患）
- 2) 犬のエリトマトーデス（SLE）の中獣医診療（自己免疫性疾患）
- 3) 猫難治性副鼻腔蓄膿の中獣医による弁証施治（耐性菌感染症）
- 4) 老年ボルネオオランウータンの麻痺の中獣医診断と治療（野生動物）

感想

30年以上の獣医生活の中で、椎間板ヘルニアによる麻痺などの難病を治癒させた。私は私達の中獣医治療レベルは人の漢方医よりも高いとさえ思っている。それは錯覚かも知れないし、実際には動物の自然治癒能力が人より強いものかも知れない。個体の機能を破壊することなく、個体自身の抗病機序を動かすことでバランスを取り戻す、中（獣）医学のTo cure sometimes, To relieve often, To comfort always（時には治癒し、常に緩和し、いつも慰めてくれる）中獣医哲学と方法論の指導の下での中国西洋獣医学の結合は、動物の健康の最適な選択であると思われる。

まとめ

中獣医学の哲学と方法論が私達に教えてくれたのは、地球の生命（微生物を含む）は共同体であり、One World One Health ということである。疾病は平衡失調の結果であり、動物は一定の強大な自己平衡能力を持つ生命体であり、外来（医療）に依存せずに繁殖し、発展することができる。理想的な医療は生命体自身の抗病機序を十分に引き出し、維持し、外力（薬物または器具）を借りずに健康を回復する医学方法である。中獣医学の理念と方法は理想的な医学に最も近い医学である。私達は中獣医診療を学び、展開し、中西獣医の長所と短所を補う癒合発展を通じて、人類の最も理想的な獣医学と医学を発展させましょう。

（なお、本稿は陳教授に校閲を得ているものです。）



お知らせ

令和6年度獣医公衆衛生講習会(中国地区)の開催について

鳥取県獣医師会の主催で次のとおり開催されます。参加を希望される方は、11月28日(木)までに、本会事務局に連絡してください。

- 1 開催日時 令和6年12月21日(土) 14:00~16:00
- 2 開催場所 米子コンベンションセンター 6F 第7会議室(米子市末広町)
- 3 講習内容
 - (1) 演 題:「災害時ペット対策の視点と課題について」(仮題)
 - (2) 講 師:東京都獣医師会事務局長、NPO法人ANICE理事長 平井 潤子 先生

お知らせ

今後の主な行事(予定)

- 11月7日 ・第3回理事会(小郡ふれあいセンター)
- 11月10日 ・産業動物講習会(防長苑)
- 11月12日 ・第72回和牛共進会(山口市中央家畜市場)
- 11月13日 ・第44回ホルスタイン共進会(山口市中央家畜市場)
- 11月23日 ・獣医公衆衛生講習会(防長苑)
- 12月1日 ・中国地区小動物講習会(山口グランドホテル)

事務局だより

- 10月2日 ・山口大学共同獣医学部慰霊祭(山口大学)
- 10月15日 ・日本獣医師会産業動物臨床部会常設委員会(オンライン)
- 10月18日 ・中国地区獣医師会連合会会長会議(松江市)
- 10月19日~20日 ・中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区学会(松江市)
- 10月21日 ・自由民主党山口県支部連合会政策聴問会(セントコア山口)
- 10月22日 ・会報編集委員会(仮事務所)
- 10月23日 ・鶏病研究会技術研修会(中部家畜保健衛生所)
- 10月24日 ・総務委員会(小郡地域交流センター)
- 10月26日 ・山口大学獣医学科創立80周年記念式典(かめ福オンプレイス)
- 10月31日 ・第1回支部長会議(小郡ふれあいセンター)
- 10月24日 ・事業推進会議

次回編集委員会 11月19日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第762号 令和6年11月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail:yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

http://www.yamaguchi-vet.or.jp

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

ご加入の
チャンスは
年1回!!

獣医師 総合福祉生命共済事業 2025年度募集のご案内

病院開業会員・病院勤務会員および事務局専従役員の方のみ加入いただける生命保険です

申込
締切日

2025年1月22日

保障
開始日

2025年4月1日

ポイント1

まとまった人数で
加入することにより
掛金がお手頃!

ポイント2

医師の診査は不要!
簡単な告知のみで
お申込み可能!

ポイント3

ご家族もご加入
いただけます!※ご本人の加入を条件に配偶者、
お子さまもご加入いただけます。

ポイント4

剰余金があれば
配当金もお支払い
します!

※剰余金が発生した場合に限ります。



保障内容と給付金額(1口100万円の加入例)

支払事由	病気による 死亡または高度障害	不慮の事故による 死亡または高度障害	不慮の事故による障害 (障害等級第1~6級)	不慮の事故による 入院(5日以上)
給付金額	100万円	200万円	100万円~10万円	日額 1,500円

1口100万円単位で地方会一括加入事業と合算して15歳~65歳までは10口(死亡または高度障害保険金1,000万円)、66歳~70歳までは5口(死亡または高度障害保険金500万円)まで加入できます。

年払掛金表(1口100万円の掛金例)

保険年齢	15歳~35歳	36歳~40歳	41歳~45歳	46歳~50歳	51歳~55歳	56歳~60歳
年払掛金 (概算)	男性	4,471円	4,773円	5,274円	6,100円	7,346円
	女性	3,900円	4,377円	4,645円	5,250円	5,972円

※記載の年齢は、保険年齢を使用しています。保険年齢は、更新日(2025年4月1日)現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数について6か月を超えるものは切り上げて、6か月以下のものは切り捨てます。

配当金実績(負担保険料に対する過去3年の実績です)

2023年度	2022年度	2021年度
約26%	約17%	約20%

※毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合に配当金としてご加入の会員にお支払いいたします。
※配当金は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定していません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。ぜひ、加入を
ご検討ください!

※ご加入のご検討に際しましては、獣医師総合福祉生命共済事業のパンフレットを必ずご確認ください。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本獣医師会 TEL 03-3475-1601 / 住友生命保険相互会社 TEL 0120-357-224

CG2024-0396